



八幡神社 (檀原市)



八幡神社は檀原市西部を南から北に流れる曾我川の西沿いの森に鎮座しています。創建は不明ですが、江戸時代初期以前とみられています。

南北朝時代に高市郡を根拠地とした豪族の越智

(住所) 檀原市東坊城町857
(祭神) 誉田別命、天照大神、豊受大神

(交通) 近鉄坊城駅から徒歩約5分
(拝観) 境内自由
(駐車場) なし (電話) なし

氏は室町時代を通じて勢力を拡大。坊城地域も拠点の一つだったとされ、武運長久などの願いから八幡神社を設けたとの見方があります。

(正式名称は「東坊城のホーランヤ」)です。江戸時代中期から続く除災招福や降雨などを願う行事とされます。松明は大小2種類あり、いずれも割り竹をすだれ状に編み、麦わら、菜種殻、笹竹を巻きずしのように巻き、わら縄でしばって完成させます。大松明では中止されてきました。熱中症対策を含め、27年以降の実施方法が検討されています。

八幡神社と同神社北東約500坪の春日神社で毎年8月15日に実施されてきたのが炎天下の松明行事の具指定無形民俗文化財「ほうらんや火祭」

2020年以降、新型コロナウイルス禍と猛暑などで松明行事は中止されてきました。熱中症対策を含め、27年以降の実施方法が検討されています。

迫力の「火祭」復活へ期待

(奈良まほろばソムリエの会員 久門たつお)